

MFCAによる環境負荷低減手法の開発

株式会社竹内農産

所在地	長和町
資本金	3,300万円
従業員数	90名
主要事業	野沢菜漬製造

公益財団法人長野県テクノ財団支援事例 【諏訪テクノレイクサイド地域センター】

担当コーディネータ: 岩下幸廣 今野次視

研究開発のポイント

【課題】

漬物工場でのエネルギー消費が多く、環境及びコスト削減の観点で、新たな方法が必要となった。

【開発概要】

MFCA視点で工場環境、プロセスを見直し、冷蔵庫の霜取り方法、ファン効率運転、等で新たな方法を開発して電力料削減へつなげた。

主な開発成果

- 大型冷蔵庫の省エネ方法の開発(霜取方法、ファン有効活用)
→年間約40万円の電力量削減
- エア漏れの発見方法の開発と、エア漏対策
→年間約10万円の電力量削減

効果

- MFCA手法修得による問題発見能力と改善力の向上
環境視点、コスト削減視点
- 省エネ(電力量削減):年間約 50万円

参画機関

- ・株式会社竹内農産
- ・長野県工業技術総合センター
- ・MFCA研究所 代表 安城泰雄 氏

活用した支援制度

- ・ミラサポ

